

JB Customer Report

カスタマーレポート

ORPHIS FW

岐阜県内で、実際に機械をご導入いただいたお客様の「生の声」をご紹介します！

取材：営業部 営業企画支援課

若葉台自治会 様

若葉台自治会の様に平成29年3月に導入された
ORPHIS X7200・FW5230の感想を長川様に伺いました

若葉台自治会様は「手をつなぐ 支えあう街 若葉台」をスローガンに住み心地よい団地作りを目指して活動されています。

使用枚数が多いからこそ使いやすい機械を

若葉台自治会はエリアにある3つの学校や自治会のニュース、防災関連の情報を約1,200世帯に向けて情報誌【自治会掲示板】を発刊・配信しています。地域の情報をリアルタイムに手作りで発信する事が、住みよい団地作りにも貢献出来ると考えている為、印刷は外部に依頼するのではなく自分たちで取材・校正・印刷を行っています。問題になるのが印刷速度と経費です。30年程前から孔版印刷機でモノクロ印刷をしていましたが、自治会員からの「カラーで印刷がしたい」と言う要望も有り悩んでいた時にORPHISを紹介して頂き2012年4月にX7200を2017年3月にFW5230を購入しました。印刷速度も経費も期待以上に効果を発揮してくれている為、自治会の印刷の幅も広がっています。例えば総会資料。総会資料は両面約20ページで写真の印刷が多い為、必然的にカラー印刷が多くなってしまいましたが、ORPHISはカラーのコストが複合機のモノクロ単価以下で印刷ができる為、安心して印刷する事ができますね。伝えたい思いがしっかり伝わる、見やすいカラー資料作りこれからも拘っていきたいと思っています。自治会員の方へORPHIS使用の開放も行っていますが、簡単な操作性と印刷スピードが非常に好評であり、利用者・利用回数も増えていますよ。新しい印刷に挑戦する自治会員の方もみえて、ORPHISが導入されたことで地域の活性化にも貢献できており、非常に嬉しく思います。

ICカード認証で使用枚数を管理！！

もっと多くの自治会員が安心してORPHISを使用して頂く為に、ICカード認証キットを導入しました。①事務局 ②光寿会 ③こども見守り隊 ④里山若葉クラブ ⑤高齢福祉連合会 ⑥その他と団体毎に区分けして管理ができる為、詳細な使用情報を掴む事ができると共にセキュリティの強化に繋がっています。速く・安く・簡単に使えるプリンターだからこそ利用者情報の管理とセキュリティ対策は大切ですね。常に進化し続けるORPHISですが、タッチパネルが使用環境に特化した切替モード（例えばコピーしかできない）にカスタマイズできれば、利便性をもっと上がるような気がしますね。

安心して印刷機器を使うために・・・

印刷機器が丈夫で、耐久性があってもトラブルはつきものですね。特に自治会ではいろんな方が利用するので自己解決出来ない時に、専門商社であるジムブレンさんの迅速な修理対応や印刷アドバイスといったフォローがある為、管理する側としても安心して使えるのがポイントですね。特にカラー印刷物の要望や工夫もこれからどんどん増えてきますので、色彩検定資格を有するジムブレンさんの知恵をお借りしながら活用の幅を増やしていきたいです。



拘りが詰まった自治会掲示板

営業担当者の声

営業担当：清水 佳和



X7200を使用する際にも多品種、多枚数の印刷を多くの方が使用されており、事務局の方々には少し手間をとらせてきたことも多々あったと思います。FWの導入により、管理面・運用面でスリム化ができたのは、と感じています。ORPHISはまだまだ若葉台自治会様のお役に立てる機能満載ですので、しっかりとフォローさせていただきます。